

## 自転車用ヘルメットの使用に関する実地調査結果

自転車利用者のヘルメットの着用状況を把握するため、都内市街地 10 か所における自転車利用者のヘルメットの着用の有無等を人手にて観測した。

## 【調査結果】

## ＜観測者数＞

- ・観測者の総数は、4158 人（運転者 3995 人、同乗者 163 人）であった。
- ・各調査地点での観測者数は、八王子市が最も多く 733 人、江戸川区が最も少なく 226 人、1 地点当たりの平均が 約 416 人であった。

## ＜運転者の性別・年齢＞

- ・運転者は、男性が 53.6%（2140 人）、女性が 46.4%（1855 人）であった。
- 年齢層は、一般（概ね中学生以上）が 99.1%（3,959 人）、子供（概ね小学生以下）が 0.9%（36 人）であった。

## ＜ヘルメット着用率＞

- ・運転者、同乗者別では、運転者が 6.3%、同乗者が 49.7%であった。
- ・性別では、男性が 4.7%、女性が 1.5%であった。
- 年齢層別では、一般（中学生以上）が 5.9%、子供（小学生以下）が 41.7%であった。
- ・性別×年齢層で見ると、子供・男性（52.0%）が最も高く、次いで子供・女性（18.2%）、一般・男性（8.3%）、一般・女性（3.2%）の順であった。

## ＜運転者のヘルメットのあご紐の状態＞

- ・運転者全体の 92.0%がヘルメットのあご紐を適切に着用していた。

## 第1 目的

東京都内の自転車利用者のヘルメットの着用状況を把握するため、実地調査を行った。

## 第2 調査内容

東京都内 10 地点において、自転車利用者のヘルメットの着用の有無等を、人手により観測した。

### 1 調査日時

令和 5 年 10 月 24 日（火）に実施した。なお天気は、概ね晴れであった。

観測時間は連続 3 時間として、調査時点ごとに朝（7～10 時）、昼（11～14 時）、夕方（14～17 時）のいずれかで実施した。

### 2 調査場所

都内の計 10 地点で調査した。東京都の人口推計<sup>1</sup>より、表 1 のとおり人口比を考慮し、区部 7 地点、市部 3 地点とした。

表 1 区市別人口と調査地点数

地域	人口	全体に占める割合	調査地点数
総数	13,988,129	—	—
区部	9,671,141	69 %	7 地点
市部	4,237,962	30 %	3 地点

警視庁の各種統計等より、自転車事故件数の多い区市の駅周辺を調査地点とした。（図 1）具体的な調査地点は表 2 のとおり。選定の考え方については、5・6 ページの参考資料を参照のこと。



図 1 調査地点概要図

<sup>1</sup> 東京都 区市町村別人口・面積（令和 4 年 1 月 1 日時点の「東京都の人口（推計）」から）  
<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/tokvoto/profile/gaiyo/kushichoson.html>

表 2 調査地点

		調査地点	最寄り駅	観測時間		
				朝 7～10時	昼 11～14時	夕 14～17時
区 部	都心・副都心	港区	六本木通り 西行き道路側歩道		○	
	城東	足立区	日光街道沿い 南行き道路側歩道	○		
		江戸川区	小岩駅南側フラワーロード 南行き道路側歩道			○
	城西	世田谷区	国道246号線東行き道路 側三軒茶屋交差点西側歩道			○
		練馬区	練馬駅前交差点北行き 道路側歩道	○		
	城南	大田区	西蒲田公園北東角西行き 道路側歩道		○	
	城北	板橋区	区立板橋第一中学校西側 南行き道路側歩道			○
市 部	北多摩	立川市	立川南駅下道路 北行き側道路歩道		○	
		調布市	調布駅南口交差点 南行き道路側歩道			○
	西・南多摩	八王子市	西八王子駅西交差点駅方面 道路北行き道路側歩道	○		

観測対象範囲は、道路の片側車線とした。(図2)

ただし、練馬区、板橋区、調布市、八王子市の4地点については、道幅が狭く確認が容易であったため、対向車線も含めて観測を行った。

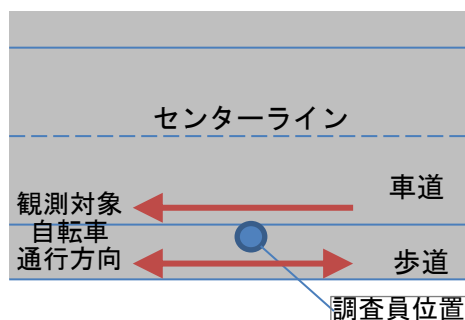


図 2 観測対象範囲

### 3 調査対象

調査地点を通過する自転車の運転者及び同乗者を観測し、ヘルメットの着用の有無等について判別し、集計した。なお、分類は表 3に示す 14 種類とし、集計は1時間毎とした。

表 3 調査対象の集計分類案

	運転者／ 同乗者	自転車用 ヘルメット	年齢層	性別	あごひも
①	運転者	着用	一般 (概ね中学生以上)	男性	している
②					外している又は緩い
③				女性	している
④					外している又は緩い
⑤			子供 (概ね小学生以下)	男性	している
⑥					外している又は緩い
⑦				女性	している
⑧					外している又は緩い
⑨		非着用	一般 (概ね中学生以上)	男性	—
⑩				女性	
⑪			子供 (概ね小学生以下)	男性	
⑫				女性	
⑬	同乗者	着用	—	—	
⑭		非着用			

<補足>

- ・ 原動機付自転車、二人乗り自転車(幼児用座席は除く)、サイドカー付自転車、子供用のペダル無し二輪遊具は、観測対象外とした。
- ・ 運転者に抱っこまたはおんぶされている者は、同乗者とみなした。
- ・ 業務により自転車ヘルメットを着用している警察官及び消防士と思われる者などを、観測の対象外とした。

[参考資料] 調査地点の選定の考え方

東京都内のエリアを、城北、城東、城南、城西、都心・副都心地区、北多摩地区、西・南多摩地区の7エリアに区分した。(図 3)

また、北多摩地区は、北部、西部、南部に細分した。(図 4)

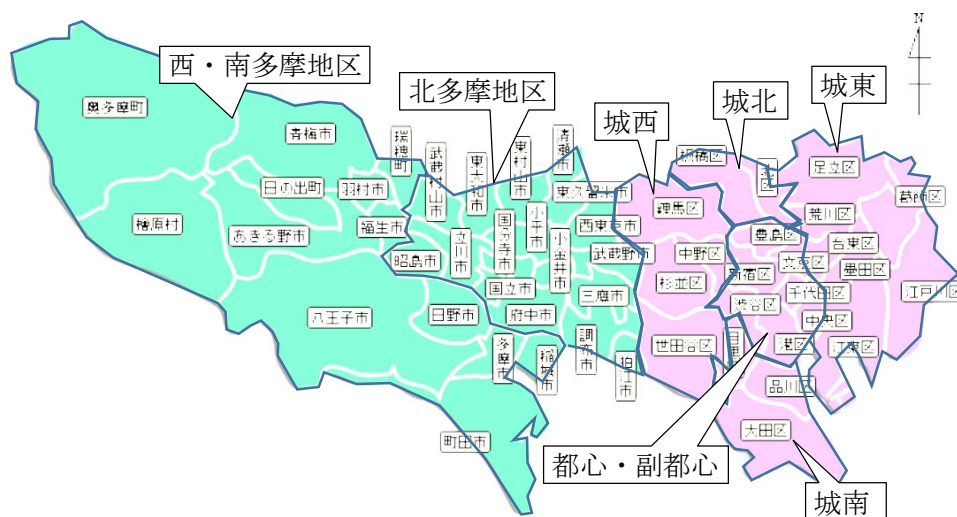


図 3 東京都内エリア分け図<sup>2</sup>

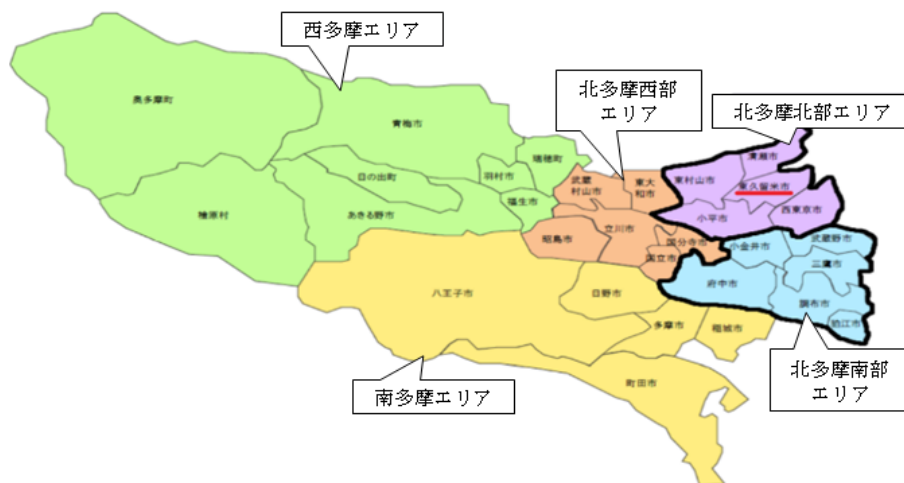


図 4 多摩地域のエリア区分<sup>3</sup>

<sup>2</sup> 東京都 都内区市町村マップ

<sup>3</sup> 東久留米市「多摩地域における財政分析の比較表」

警視庁の自転車事故関連データ<sup>4</sup>より、区市町村別の昼間帯の事故件数に着目し、エリア別で事故件数が上位の区市を調査対象として選定した。(表 4、表 5)

表 4 昼間帯の自転車事故件数(23区)と調査対象

(区部 7地点)

エリア	23区	事故件数(件)	順位	エリア別順位	調査対象
城東	足立区	773	1位	1位	○
城西	世田谷区	684	2位	1位	○
城南	大田区	576	3位	1位	○
城東	江戸川区	564	4位	2位	○
城東	江東区	499	5位	3位	
城東	葛飾区	398	6位	4位	
城北	板橋区	368	7位	1位	○
城西	練馬区	350	8位	2位	○
都心・副都心	港区	277	—	1位	○

表 5 昼間帯の自転車事故件数(市町村)と調査対象

(市部 3地点)

エリア	市町村	事故件数(件)	順位	エリア別順位	調査対象
西・南多摩	八王子市	355	1位	1位	○
西・南多摩	町田市	284	2位	2位	
北多摩南部	調布市	234	3位	1位	○
北多摩西部	立川市	217	4位	1位	○
北多摩南部	武蔵野市	202	5位	2位	

警視庁の自転車事故分析資料<sup>5</sup>、各警察署の自転車指導啓発重点地区・路線図<sup>6</sup>、駅周辺の駐輪場位置などを参考に、調査対象区市における調査地点を選定した。

<sup>4</sup> 警視庁 月別・時間帯別クロス(令和4年)

[https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/about\\_mpd/jokyo\\_tokei/tokei\\_jokyo/bicycle.files/006\\_04.pdf](https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/about_mpd/jokyo_tokei/tokei_jokyo/bicycle.files/006_04.pdf)

<sup>5</sup> 警視庁 自転車事故分析資料(2022年中)

[https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/about\\_mpd/jokyo\\_tokei/tokei\\_jokyo/bicycle.files/002\\_04.pdf](https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/about_mpd/jokyo_tokei/tokei_jokyo/bicycle.files/002_04.pdf)

<sup>6</sup> 警視庁 自転車指導啓発重点地区・路線

[https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/bicycle/bicycle\\_plan.html](https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/bicycle/bicycle_plan.html)

### 第3 調査結果

#### 1 観測結果

観測者数を表 6 に示す。

表 6 観測者数一覧

		運転者												同乗者		計
		着用								非着用				着用	非着用	
		一般 (概ね中学生以上)				子供 (概ね小学生以下)				一般 (概ね中学生以上)		子供 (概ね小学生以下)		—	—	
		男性		女性		男性		女性		男性	女性	男性	女性	—	—	
		あごひも		あごひも		あごひも		あごひも		—	—	—	—	—	—	
○ ×		○ ×		○ ×		○ ×		—	—	—	—	—	—			
都心・副都心(港区)	昼	20	11	9	2	0	0	0	0	192	97	1	2	7	2	343
城東(足立区)	朝	44	4	3	1	1	0	0	0	201	105	0	0	6	4	369
城東(江戸川区)	夕	2	0	0	0	2	0	0	0	93	118	5	0	1	5	226
城西(世田谷区)	夕	26	0	1	0	3	0	2	0	274	248	3	0	17	9	583
城西(練馬区)	朝	9	0	4	0	0	0	0	0	143	195	0	0	15	15	381
城南(大田区)	昼	13	0	2	0	0	0	0	0	136	110	0	0	1	1	263
城北(板橋区)	夕	10	1	9	0	2	0	0	0	216	239	2	6	9	27	521
北多摩(立川市)	昼	5	0	2	0	1	0	0	0	126	147	0	0	5	4	290
北多摩(調布市)	夕	6	0	10	0	4	0	0	0	199	200	1	1	16	12	449
西・南多摩(八王子市)	朝	24	1	16	0	0	0	0	0	359	326	0	0	4	3	733
朝 合計		77	5	23	1	1	0	0	0	703	626	0	0	25	22	1483
昼 合計		38	11	13	2	1	0	0	0	454	354	1	2	13	7	896
夕 合計		44	1	20	0	11	0	2	0	782	805	11	7	43	53	1779
区部 合計		124	16	28	3	8	0	2	0	1255	1112	11	8	56	63	2686
市部 合計		35	1	28	0	5	0	0	0	684	673	1	1	25	19	1472
総合計		159	17	56	3	13	0	2	0	1939	1785	12	9	81	82	4158

※ 朝(7~10時)、昼(11~14時)、夕方(14~17時)

<補足>

- ・原動機付自転車、二人乗り自転車(幼児用座席は除く)、サイドカー付自転車、子供用のペダル無し二輪遊具は、観測対象外とした。
- ・運転者に抱っこまたはおんぶされている者は、同乗者とみなした。
- ・業務により自転車ヘルメットを着用している警察官及び消防士と思われる者などを、観測対象外とした。

各分類別のヘルメット着用率を表7、表8に示す。

表7 ヘルメット着用率（運転者・同乗者別）

		全体 (運転者+同乗者)			運転者			同乗者		
		総数	着用	着用率	総数	着用	着用率	総数	着用	着用率
都心・副都心(港区)	昼	343	49	14.3%	334	42	12.6%	9	7	77.8%
城東(足立区)	朝	369	59	16.0%	359	53	14.8%	10	6	60.0%
城東(江戸川区)	夕	226	5	2.2%	220	4	1.8%	6	1	16.7%
城西(世田谷区)	夕	583	49	8.4%	557	32	5.7%	26	17	65.4%
城西(練馬区)	朝	381	28	7.3%	351	13	3.7%	30	15	50.0%
城南(大田区)	昼	263	16	6.1%	261	15	5.7%	2	1	50.0%
城北(板橋区)	夕	521	31	6.0%	485	22	4.5%	36	9	25.0%
北多摩(立川市)	昼	290	13	4.5%	281	8	2.8%	9	5	55.6%
北多摩(調布市)	夕	449	36	8.0%	421	20	4.8%	28	16	57.1%
西・南多摩(八王子市)	朝	733	45	6.1%	726	41	5.6%	7	4	57.1%
朝合計		1,483	132	8.9%	1,436	107	7.5%	47	25	53.2%
昼合計		896	78	8.7%	876	65	7.4%	20	13	65.0%
夕合計		1,779	121	6.8%	1,683	78	4.6%	96	43	44.8%
区部合計		2,686	237	8.8%	2,567	181	7.1%	119	56	47.1%
市部合計		1,472	94	6.4%	1,428	69	4.8%	44	25	56.8%
総合計		4,158	331	8.0%	3,995	250	6.3%	163	81	49.7%

表8 運転者のヘルメット着用率（性別、年齢層別）

		運転者											
		男性			女性			一般 (概ね中学生以上)			子供 (概ね小学生以下)		
		総数	着用	着用率	総数	着用	着用率	総数	着用	着用率	総数	着用	着用率
都心・副都心(港区)	昼	224	31	13.8%	110	11	10.0%	331	42	12.7%	3	0	0.0%
城東(足立区)	朝	250	49	19.6%	109	4	3.7%	358	52	14.5%	1	1	100.0%
城東(江戸川区)	夕	102	4	3.9%	118	0	0.0%	213	2	0.9%	7	2	28.6%
城西(世田谷区)	夕	306	29	9.5%	251	3	1.2%	549	27	4.9%	8	5	62.5%
城西(練馬区)	朝	152	9	5.9%	199	4	2.0%	351	13	3.7%	0	0	—
城南(大田区)	昼	149	13	8.7%	112	2	1.8%	261	15	5.7%	0	0	—
城北(板橋区)	夕	231	13	5.6%	254	9	3.5%	475	20	4.2%	10	2	20.0%
北多摩(立川市)	昼	132	6	4.5%	149	2	1.3%	280	7	2.5%	1	1	100.0%
北多摩(調布市)	夕	210	10	4.8%	211	10	4.7%	415	16	3.9%	6	4	66.7%
西・南多摩(八王子市)	朝	384	25	6.5%	342	16	4.7%	726	41	5.6%	0	0	—
朝合計		786	83	10.6%	650	24	3.7%	1,435	106	7.4%	1	1	100.0%
昼合計		505	50	9.9%	371	15	4.0%	872	64	7.3%	4	1	25.0%
夕合計		849	56	6.6%	834	22	2.6%	1,652	65	3.9%	31	13	41.9%
区部合計		1,414	148	10.5%	1,153	33	2.9%	2,538	171	6.7%	29	10	34.5%
市部合計		726	41	5.6%	702	28	4.0%	1,421	64	4.5%	7	5	71.4%
総合計		2,140	189	8.8%	1,855	61	3.3%	3,959	235	5.9%	36	15	41.7%

※ 朝(7~10時)、昼(11~14時)、夕方(14~17時)



## 2 調査結果分析

### 2.1 調査概要

#### (1) 観測者数

観測者数は、運転者 3995 人、同乗者 163 人、合計で 4158 人であった。

各調査地点での観測者数は、八王子市が最も多く 733 人、江戸川区が最も少なく 226 人であった。(図 5)

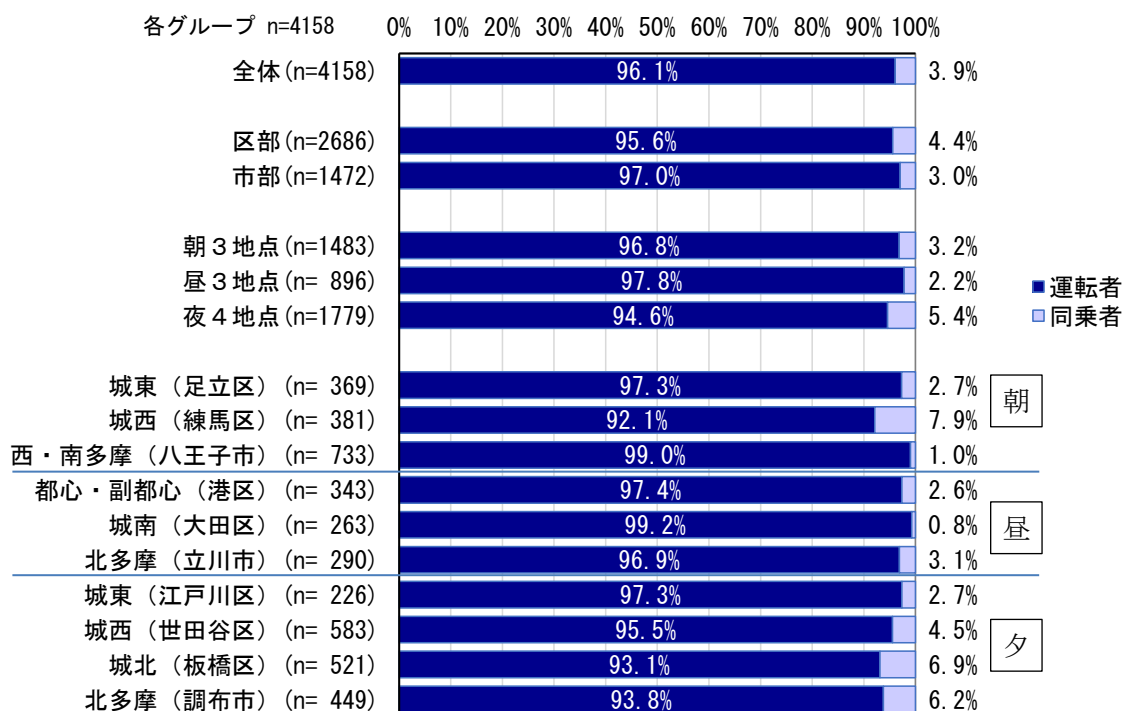


図 5 運転者と同乗者の割合

地域別、時間帯別の 1 地点あたりの観測者数については大きな差はなかったが、区部より市部の方が多く、昼に比べ朝夕の方が多かった。(表 9)

表 9 地域別、時間帯別の観測者数

	観測者数	地点数	1 地点あたりの観測者数
区部	2686	7	384
市部	1472	3	491
朝	1483	3	494
昼	896	3	299
夕	1779	4	445
全体	4158	10	416

(2) 運転者の性別・年齢層別

運転者は、男性が 53.6% (2140 人)、女性が 46.4% (1855 人) で、男性の方がやや多かった。地点別で見ると、男性が比較的多いのは足立区 (69.6%)、港区 (67.1%) で、女性が比較的多いのは練馬区 (56.7%) であった。(図 6)

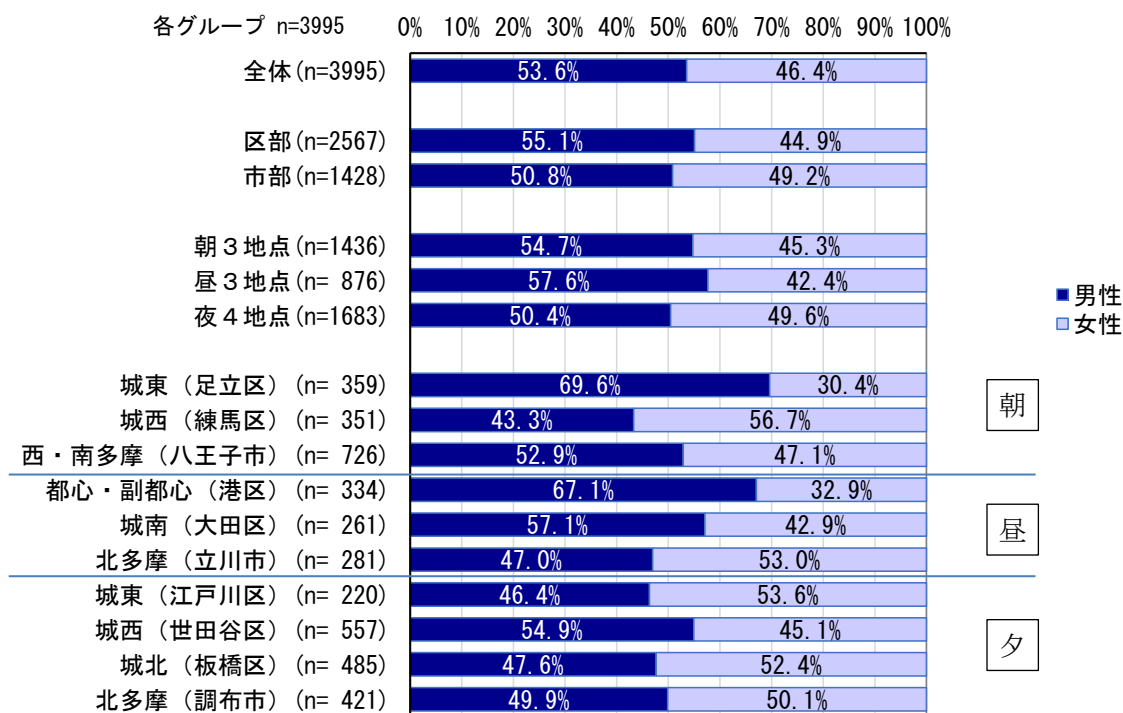


図 6 運転者の男女の割合

運転者の年齢層は、一般（概ね中学生以上）が 99.1%であり、子供（概ね小学生以下）は 0.9%であった。（図 7）

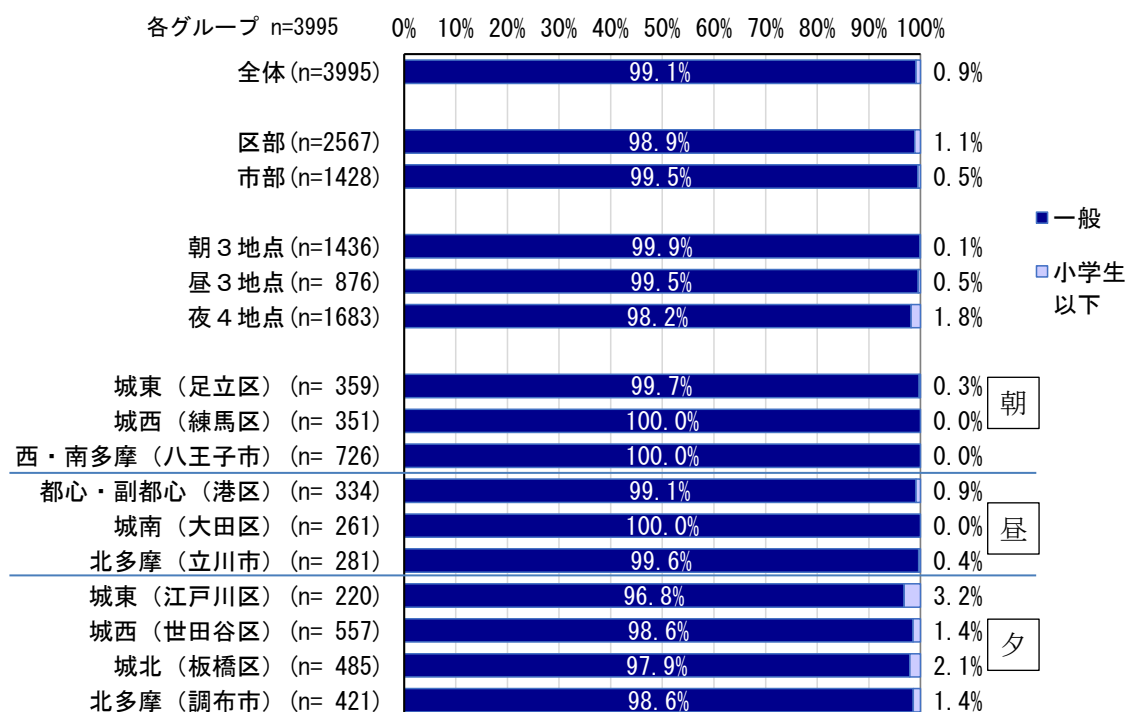


図 7 運転者の年齢層の割合

(3) ヘルメット着用率

ヘルメット着用率は、運転者、同乗者を合計した全体では、8.0%であった。区部・市部、時間帯別で見ても大きな差はなかった。

地点別では、足立区が16.0%と最も高く、次いで港区が14.3%であるが、その他は10%未満であり、江戸川区が最も低い2.2%であった。(図8)

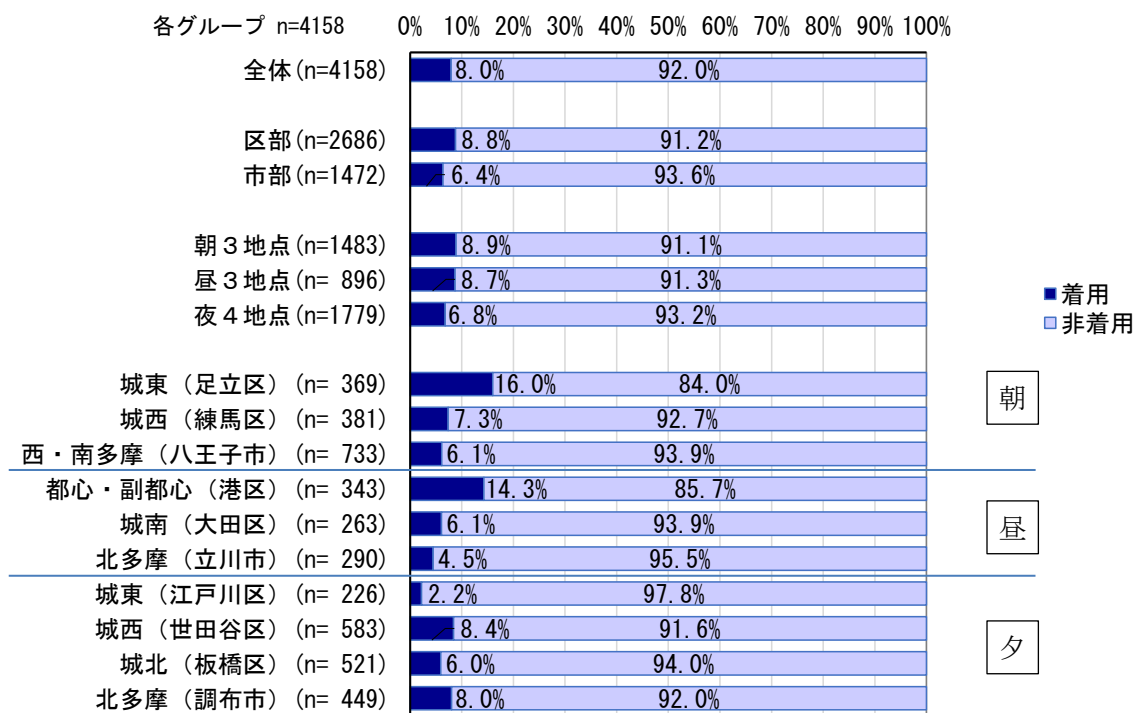


図8 ヘルメット着用／非着用の割合

運転者、同乗者別のヘルメット着用率は、運転者が6.3%、同乗者が49.7%であった。(表10)

表10 運転者・同乗者別のヘルメット着用／非着用の割合

	着用	非着用
運転者 (n=3995)	6.3%	93.7%
同乗者 (n=163)	49.7%	50.3%

(4) 運転者のヘルメット着用状況

運転者のヘルメット着用率は、区部・市部、時間帯別で見ても大きな差はなかった。地点別では、足立区が14.8%と最も高く、次いで港区が12.6%であるが、その他は10%未満であり、江戸川区は最も低い1.8%であった(図9)。

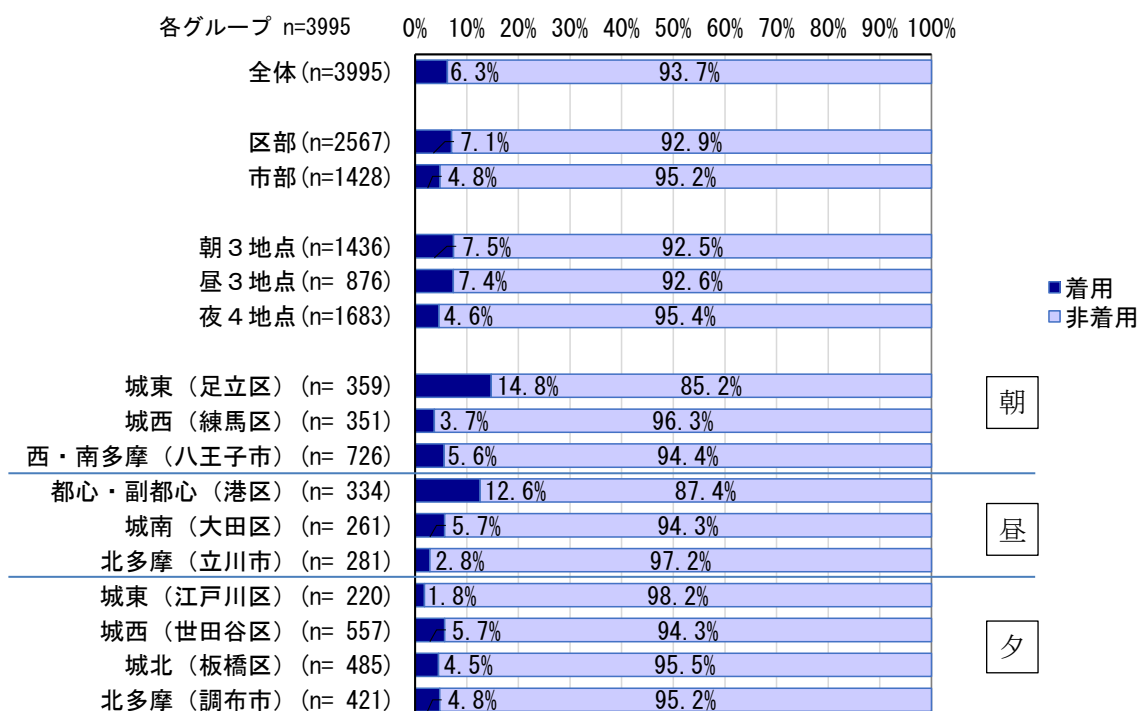


図9 ヘルメット着用／非着用の割合 (運転者)

性別では、男性が 4.7%、女性が 1.5%であった。また、年齢層別では、一般（概ね中学生以上）が 5.9%、子供（概ね小学生以下）が 41.7%であった。

性別×年齢層で見ると、子供・男性（52.0%）が最も高く、次いで子供・女性（18.2%）、一般・男性（8.3%）、一般・女性（3.2%）の順であった。（表 11）

表 11 性別・年齢層別のヘルメット着用／非着用の割合（運転者）

		着用	非着用
全体 (n=3995)		6.3%	93.7%
性別	男性 (n=2140)	8.8%	91.2%
	女性 (n=1855)	3.3%	96.7%
年齢層	一般 (中学生以上) (n=3959)	5.9%	94.1%
	子供 (小学生以下) (n=36)	41.7%	58.3%
性別×年齢層	一般 (中学生以上)・男性 (n=2115)	8.3%	91.7%
	一般 (中学生以上)・女性 (n=1884)	3.2%	96.8%
	子供 (小学生以下)・男性 (n=25)	52.0%	48.0%
	子供 (小学生以下)・女性 (n=11)	18.2%	81.8%

各地点での女性／男性比率とヘルメット着用率の関係を図 11 に示す。  
全体で見ると男性の多い地点ほど着用率が高い傾向がある。

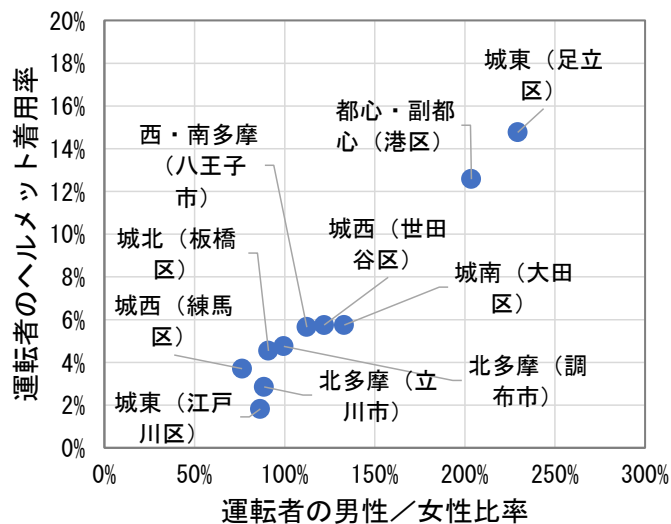


図 11 運転者の男性／女性比率とヘルメット着用率の関係

【参考】ヘルメット着用率の推移

昨年度実施された警視庁調査と本調査のヘルメット着用率を比較した。(調査場所、調査地点数、観測数などに違いがあるため、参考比較である。)

全年齢の自転車利用者に対するヘルメット着用の努力義務化前に実施した警視庁調査では、着用率は全体で4.1%であったが、今回の調査では6.3%であった。

比較すると、着用率は約2%上昇したが、依然として低い状況である。

表 12 ヘルメット着用率の推移

	実施時期	調査地点数	観測数	全体	男性	女性
警視庁 <sup>7</sup>	2022年11月～ 2023年1月 (全年齢での着用の 努力義務化前)	114	103,858	4.1%	6.8%	1.0%
本調査	2023年10月 (全年齢での着用の 努力義務化後)	10	3995	6.3%	8.8%	3.3%
				運転者の着用率※		

※警視庁調査と比較するため、本調査は運転者の着用率を記載している。

<sup>7</sup> 警視庁 自転車定点調査結果報告書 (令和5年1月)

[https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/bicycle/teiten\\_cyosa.files/teiten\\_cyosa.pdf](https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/bicycle/teiten_cyosa.files/teiten_cyosa.pdf)

(5) 運転者のヘルメットのあご紐の状態

ヘルメットを着用していた運転者について、ヘルメットのあご紐の状態を目視で確認した。(図 13)

地点によりばらつきがあるが、ヘルメットを着用していた運転者 250 人のうち 230 人 (92.0%) があご紐をしめていた。なお、明らかにゆるく締めている場合は「緩い・外している」にカウントし、「あご紐をしめていた」には含まなかった。

性別・年齢層別のあご紐の状態を表 9 に示す。子供 (概ね小学生以下) は 100%、一般 (概ね中学生以上) においても 90%以上が適切に着用していた。

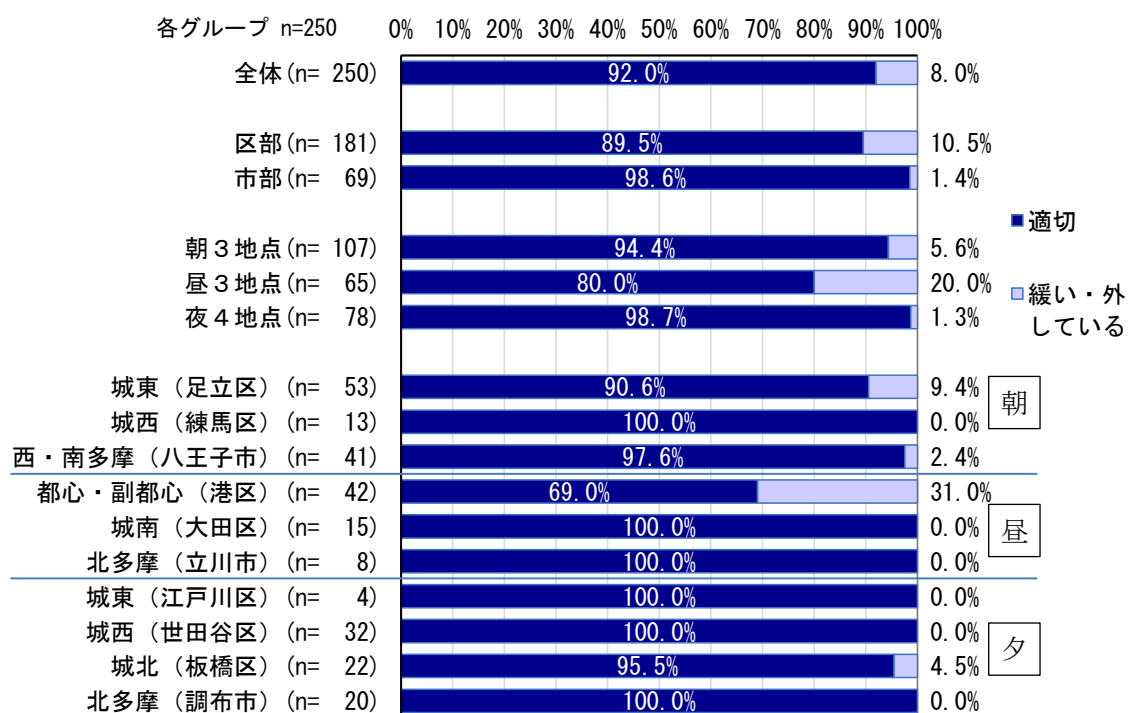


図 13 運転者のヘルメットのあご紐の状態

表 9 ヘルメットのあご紐を適切に着用している運転者の割合 (性別・年齢別)

	合計	男性	女性
全体 (n=250)	92.0%	91.0%	95.1%
一般 (n=235)	91.5%	90.3%	94.9%
子供 (小学生以下) (n=15)	100.0%	100.0%	100.0%